

(1) 第1回交流会 会場：岸和田浪切ホール1階多目的ホール

日時	令和元年11月23日(土) 13:30~16:30
テーマ	衣
担当班	金野茜(和歌山大学) 先輩期生サポート：浦谷拓弥(大和大学、2期)
学生リーダー会 ボランティア活動紹介	○わたしにとっての消費者教育 ○「大阪府中央図書館“キッズライフアカデミー”」の活動について ○大和大学学園祭「フリーマーケット出店」
消費者を大事にする 企業活動紹介	○「足と靴の話---靴を安全・快適にお履き頂く為のダイアナの取組--」 ダイアナ株式会社 新田康人様 (公益社団法人消費者関連専門家会議(ACAP) 会員企業)
ワークショップ「人や 社会や地球にやさしい 消費行動を考える」	「選択するということ~自分のための靴選び~」 ○これから自分のために靴を選択するにはどうしたらいいかを考え、意見を深める。
 	

<参加者数>

種類	参加者数	内訳
学生	12名	学生リーダー会4、和歌山大学講座受講生8
企業	14名	ダイアナ株式会社、イカリ消毒株式会社、タビオ株式会社、小林製薬株式会社、ハウス食品株式会社、大阪いずみ市民生活協同組合、株式会社ルシアン、NACS4、国民生活センター ○学生リーダー会卒業生1、その友人1
大学	3名	和歌山大学2、他1
その他	3名	大阪府消費生活センター1、事務局2
合計	32名	

<第1回交流会の様子>

1、開会式

司会 浦谷拓弥(大和大学)

まず初めに、司会者から注意事項や資料の確認等を行った。

本取組を代表して産学協働人材育成機構 AICE 企画運営委員長である岡崎 裕(和歌山大学)による挨拶をもって、令和元年度大阪府消費者教育学生リーダー会主催第1回企業×学生交流会を開会した。



2. 私にとっての消費者教育についての発表

発表者：竹田尚起（阪南大学）

大阪府消費者教育学生リーダー会に入って、消費者教育について学び、様々な活動を経て、自らの消費行動に対する考え方や捉え方にどのような変化があったのか。また、リーダー会で学んだ知識をどのような形で日々の自分の生活に活かしているのか等について発表した。



3. リーダー会活動報告紹介

① 「大阪府中央図書館“キッズライフアカデミー”」の活動について

発表者：浦谷拓弥（大和大学）

…大阪府中央図書館にて小学5,6年生を対象に、2日間計6限というスケジュールで夏休みの自由研究にも使える体験学習を行う、キッズライフアカデミーというイベントに参加した。リーダー会は初日の2限目を担当し、小学生に対して金銭教育を行う運びとなり、「おこづかいの使い方を学ぼう」というテーマのもと、おこづかいの大切さや、両親が一生懸命働いて稼いでくれたお金

で買ってくれたモノや習い事もおこづかいだということを自覚してもらい、それを今後、どのように使っていくかを考えるきっかけとする場とした。

また、「おこづかいマスターカード」というものをリーダー会で制作し、参加してくれた小学生に、その保護者への感謝の気持ちやこれからの抱負をそこに書いてもらい、おこづかいの大切さだけでなく、家庭内では普段なかなか言わないであろう両親へ感謝を伝える場ともしたことを発表した。



② 大和大学学園祭「フリーマーケット出店」について
発表者：岡橋拓摩（大和大学）

…リーダー会初の試みとして、大学の文化祭に出店をした。内容としては、「～人と物をつなぐ～」というコンセプトで、循環型社会の実現を目的にフリーマーケットを実施した。日程は2日間予定されていたのだが、初日は台風の影響により中止となり、1日のみの開催となった。フリーマーケットで出品した商品はリーダー会のメンバーの持ち寄り品で、服や毛布、文房具類等々を店頭で並べた。幅広い年代の方たちからもたくさん購入いただき、売上金が目標額を超えたこと等について発表した。



4. 企業活動紹介：ダイアナ株式会社 新田 康人 様

テーマ：『足と靴の話---靴を安全・快適にお履き頂く為のダイアナの取組---』

近年、靴はファッションの一部で、オシャレのためだけに靴を選ぶ消費者がほとんどである。講演では、本来靴とは足の安全、ひいては健康を保つものであるということをご教授頂き、ダイアナ(株)では「足のサイズに合わせて靴を選ぶ」という従来の消費に対する考え方から、「靴を足のサイズに合わせる」ことを軸にした企業活動を紹介していただいた。また、それに伴い、靴を消耗品と捉え低価格の商品を買うのか、それとも足の健康といった価格以外の要素も踏まえた上で、少し高い製品だとしても購入するのかといった消費をする際に葛藤することも重要だと伝える内容であった。



5. ワークショップ

今回のワークショップのテーマは、成熟市場である現代で、靴をファッションとして捉えて購買をするのか、安全快適に過ごすために靴を買うのか、他にも消費には選択の葛藤が必ず点在する。そのため、このワークショップの場を普段の自分の消費に対する考え方を考え直すきっかけとし、それを今後の消費活動に活かしてもらうことを目的としている。



そこで、まずワークショップの第1段階として『普段、靴を買うときは何を意識しているか』についてディスカッションを行った。

次いで、第2段階として、ダイアナ(株)の企業活動を聞いた上で、『自分のために靴を選択するとはどういうことか』についてディスカッションしてもらった。今後、足の安全や健康を意識して消費するということが正解ということではなく、それでもファッションにこだわりたいという考え方を持ったままの方もいると思う。これから消費を行う際、葛藤して自分に

合った消費は何かを考えてもらい、最後に、5~6人のグループごとに発表していただいた。

6. 閉会&アンケート

交流会の閉会宣言をした後、参加者にアンケートを回答して頂き、解散とした。

